



2024年11月14日

報道関係各位

「全国災害ボランティア支援団体ネットワーク」代表理事・栗田暢之さんの特別授業を行います。

～阪神・淡路大震災から能登半島地震まで 災害ボランティアの現場と課題～

1995年の阪神・淡路大震災から来年1月で30年になります。1995年は「ボランティア元年」とも呼ばれました。今年1月の能登半島地震はもちろん、今やボランティアがいない災害はないと言っていいほど、不可欠な存在となっています。

今回「災害ボランティア論」の講師として来学される栗田暢之さんは、阪神・淡路大震災から30年にわたって災害ボランティアの活動と育成に取り組んでこられました。さらに、2016年に発足した「全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD)」では代表理事を務め、全国の行政・社会福祉協議会・NPOなどとの連携強化に尽力しておられます。

貴社の報道を通じて、地域のみなさまに本学の授業を広くご紹介いただきたく存じます。ご多忙のところ誠に恐縮ですが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

記

【日 時】2024年11月29日（金） 第1時限（9:40～11:10）

【場 所】松本大学5号館 522教室

【対 象】「災害ボランティア論」を履修する総合経営学部観光ホスピタリティ学科の学生（28人）

【テーマ】「災害ボランティアの現場と課題」

栗田さんのお話のあと、学生たちと質疑応答を行います。

※取材をご希望の場合は、「災害ボランティア論」担当・入江（連絡先は下記）までお知らせください。



なお、授業の前日11月28日（木）には、一般向け講演会（主催：長野県地域防災推進協議会）も予定しています。詳細は同送のチラシをご覧ください（事前の一般への周知もお願いします！）。

栗田暢之さん講演会

【日 時】2024年11月28日（木） 18時～19時半

【場 所】松本市中央公民館 M ウイング 中会議室4-4

【対 象】一般（長野県地域防災推進協議会会員など）

【テーマ】「災害ボランティアの現場と課題」

※こちらの取材をご希望の場合も下記にお知らせください。

栗田暢之さん講演会

「災害ボランティアの現場と課題」

2024年11月28日（木） 18時～19時半

松本市中央公民館（Mウイング） 中会議室4-4
（松本市中央1-18-1）

1995年阪神・淡路大震災「ボランティア元年」から間もなく30年。今やボランティアがいない災害はないと言っていいほど、不可欠な存在となっています。役割は決して力仕事だけではなく、誰もがことができます。能登半島地震などの現場での奮闘や課題についてお話しいただきます。

【問い合わせ先】

長野県地域防災推進協議会



〒390-1295
松本市新村2095-1
松本大学内



0263-48-7200（代）



bousaisi@t.matsu.ac.jp



<https://www.matsumoto-u.ac.jp/research/guide/disasterprevention/>

栗田暢之さん略歴

認定NPO法人レスキューストックヤード代表理事

認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク代表理事

阪神・淡路大震災（1995年）の際に、当時勤務していた大学の学生ら延べ1500人のコーディネートを務め、それを契機に災害ボランティアの育成に取り組む。現在まで50箇所を超える災害現場で支援活動を展開し、2016年に設立したJVOADでは、行政・社協・NPO等との連携強化に尽力している。

【主催】長野県地域防災推進協議会

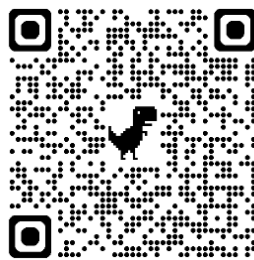
【参加費】無料

【定員】 対面40人 オンライン100人 ※先着順

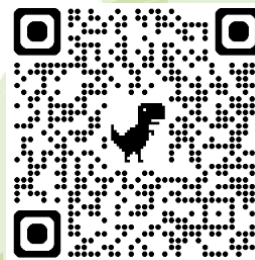
【申し込み】 スマホで下記のQRコードを読み取ってください。

締切 11月25日（月）（締切前でも定員になり次第受付を終了）

対面（現地）参加



オンライン



こちらのQRコードから申し込みができない場合は、左記の【問い合わせ先】にご連絡ください。